

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年8月8日
【四半期会計期間】	第82期第1四半期（自平成26年4月1日至平成26年6月30日）
【会社名】	不二硝子株式会社
【英訳名】	FUJI GLASS CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 小 熊 信 一
【本店の所在の場所】	東京都墨田区文花二丁目15番9号
【電話番号】	03(3617)5111（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 丸 山 光 二
【最寄りの連絡場所】	東京都墨田区文花二丁目15番9号
【電話番号】	03(3617)5111（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 丸 山 光 二
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第81期 第1四半期連結 累計期間	第82期 第1四半期連結 累計期間	第81期
会計期間	平成25年4月1日 平成25年6月30日	平成26年4月1日 平成26年6月30日	平成25年4月1日 平成26年3月31日
売上高 (千円)	580,803	652,660	2,721,784
経常利益又は経常損失 () (千円)	635	49,736	114,890
四半期(当期)純利益又は四半期 純損失 () (千円)	1,037	30,233	61,806
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	9,456	33,941	81,629
純資産額 (千円)	1,951,740	2,060,569	2,042,826
総資産額 (千円)	3,397,535	3,228,333	3,158,778
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は1株当たり四半期純損失 金額 () (円)	0.49	14.28	29.18
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	55.9	62.1	62.9
営業活動によるキャッシュ・フ ロー (千円)	64,685	106,977	33,489
投資活動によるキャッシュ・フ ロー (千円)	37,804	44,001	23,411
財務活動によるキャッシュ・フ ロー (千円)	5,918	5,804	95,820
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	393,758	332,387	275,216

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額につきましては、潜在株式が存在しないため記載していません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当社グループの平成27年3月期第1四半期の売上高につきましては、前年同四半期と比較してアンプル及び管瓶共に売上が好調であったため昨年実績を上回り、売上高6億5千2百万円（前年同期比12.4%増）となりました。

利益面につきましては、売上高が増加した事に伴い営業利益4千万円（前年同期は営業損失9百万円）、経常利益4千9百万円（前年同期は経常損失63万5千円）、四半期純利益3千万円（前年同期は四半期純損失1百万円）とそれぞれ増加しました。

(2) 財政状態の分析

（総資産）

当第1四半期末における総資産は、前連結会計年度末と比較して6千9百万円増加し32億2千8百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金(純額)が4千7百万円、未収入金が1千1百万円減少した一方で、現金及び預金が6千2百万円、商品及び製品が3千万円及び建設仮勘定が2千3百万円増加したことによるものであります。

（負債）

負債総額につきましては、前連結会計年度末と比較して5千1百万円増加し11億6千7百万円となりました。主な要因は、社債が2千5百万円及び買掛金が1千1百万円減少した一方で、賞与引当金が3千9百万円及び長期借入金が3千万円増加したことによるものであります。

（純資産）

純資産総額につきましては、前連結会計年度末と比較して1千7百万円増加し20億6千万円となりました。主な要因は、利益剰余金が1千4百万円増加したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ5千7百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末には3億3千2百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、1億6百万円（前年同四半期比65.4%増）となりました。これは主にたな卸資産の増加3千5百万円と仕入債務の減少による支出1千1百万円があった一方で、税金等調整前四半期純利益が4千9百万円、賞与引当金の増加3千9百万円及び売上債権の減少による収入4千7百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、4千4百万円（前年同四半期比16.4%増）となりました。これは主に定期預金の払い戻しによる7千7百万円の収入があった一方で、定期預金の預け入れによる支出8千5百万円と有形固定資産の取得による支出3千4百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、5百万円（前年同四半期は5百万円の増加）となりました。これは主に新規の長期借入金による収入8千万円があった一方で、長期借入金の返済による支出4千4百万円、社債の償還による支出2千5百万円及び配当金の支払による支出1千2百万円によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	8,000,000
計	8,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成26年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成26年8月8日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	2,142,000	2,142,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	2,142,000	2,142,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成26年4月1日～ 平成26年6月30日	-	2,142,000	-	107,100	-	582

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】
 【発行済株式】

平成26年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 24,100	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 2,113,100	21,131	-
単元未満株式	普通株式 4,800	-	-
発行済株式総数	2,142,000	-	-
総株主の議決権	-	21,131	-

(注) 単元未満株式数には、当社所有の自己株式が64株含まれております。

【自己株式等】

平成26年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数 (株)	他人名義所有 株式数 (株)	所有株式数の 合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 (%)
不二硝子株式会社	東京都墨田区文花二丁目 15番9号	24,100	-	24,100	1.12
計	-	24,100	-	24,100	1.12

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第2項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	336,606	398,813
受取手形及び売掛金(純額)	2 690,571	2 643,460
有価証券	40,709	46,709
商品及び製品	349,909	380,545
仕掛品	2,093	2,679
原材料及び貯蔵品	36,496	41,153
未収入金	50,172	38,838
繰延税金資産	53,916	52,213
その他	2,792	6,050
流動資産合計	1,563,268	1,610,466
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	344,210	345,824
機械装置及び運搬具(純額)	119,552	111,900
土地	446,096	446,096
建設仮勘定	29,662	53,348
その他(純額)	8,847	8,602
有形固定資産合計	948,369	965,772
無形固定資産	1,902	1,804
投資その他の資産		
投資有価証券	601,517	604,896
その他	51,338	53,011
貸倒引当金	7,617	7,617
投資その他の資産合計	645,238	650,291
固定資産合計	1,595,509	1,617,867
資産合計	3,158,778	3,228,333

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	167,079	155,402
1年内返済予定の長期借入金	154,800	159,600
1年内償還予定の社債	50,000	25,000
未払法人税等	8,629	15,833
未払事業所税	7,330	1,755
賞与引当金	55,884	95,499
その他	133,132	139,938
流動負債合計	576,856	593,028
固定負債		
長期借入金	139,400	170,000
繰延税金負債	128,699	128,853
役員退職慰労引当金	122,683	124,831
退職給付に係る負債	119,566	122,302
資産除去債務	28,745	28,748
固定負債合計	539,094	574,735
負債合計	1,115,951	1,167,764
純資産の部		
株主資本		
資本金	107,100	107,100
資本剰余金	582	582
利益剰余金	1,583,337	1,597,687
自己株式	8,450	8,450
株主資本合計	1,682,569	1,696,919
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	305,402	307,219
その他の包括利益累計額合計	305,402	307,219
少数株主持分	54,854	56,430
純資産合計	2,042,826	2,060,569
負債純資産合計	3,158,778	3,228,333

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	580,803	652,660
売上原価	467,706	505,098
売上総利益	113,097	147,561
販売費及び一般管理費	122,205	106,880
営業利益又は営業損失()	9,107	40,680
営業外収益		
受取利息	88	29
受取配当金	7,915	8,224
受取賃貸料	2,300	2,319
その他	2,038	1,314
営業外収益合計	12,342	11,888
営業外費用		
支払利息	1,296	1,032
賃貸費用	1,476	1,690
その他	1,096	110
営業外費用合計	3,870	2,832
経常利益又は経常損失()	635	49,736
特別損失		
ゴルフ会員権売却損	375	-
特別損失合計	375	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	1,010	49,736
法人税、住民税及び事業税	19,166	16,763
法人税等調整額	18,840	849
法人税等合計	326	17,612
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	1,336	32,124
少数株主利益又は少数株主損失()	299	1,890
四半期純利益又は四半期純損失()	1,037	30,233

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	1,336	32,124
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,119	1,817
その他の包括利益合計	8,119	1,817
四半期包括利益	9,456	33,941
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,157	32,051
少数株主に係る四半期包括利益	299	1,890

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	1,010	49,736
減価償却費	16,742	15,961
賞与引当金の増減額(は減少)	38,350	39,615
貸倒引当金の増減額(は減少)	55	20
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	180,819	2,148
退職給付引当金の増減額(は減少)	5,211	-
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	-	2,735
受取利息及び受取配当金	8,004	8,254
支払利息	1,296	1,032
ゴルフ会員権売却損益(は益)	375	-
売上債権の増減額(は増加)	73,923	47,130
たな卸資産の増減額(は増加)	96,662	35,879
未収入金の増減額(は増加)	7,447	11,333
仕入債務の増減額(は減少)	43,733	11,677
未払金の増減額(は減少)	201,000	-
未払消費税等の増減額(は減少)	5,969	8,257
その他	13,080	12,645
小計	82,478	109,474
利息及び配当金の受取額	7,937	8,234
利息の支払額	1,564	1,172
法人税等の支払額	27,081	9,559
法人税等の還付額	2,915	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	64,685	106,977
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	123,536	85,003
定期預金の払戻による収入	116,025	77,501
有形固定資産の取得による支出	29,742	34,270
投資有価証券の取得による支出	775	555
その他	225	1,673
投資活動によるキャッシュ・フロー	37,804	44,001
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	100,000	80,000
長期借入金の返済による支出	47,800	44,600
社債の償還による支出	25,000	25,000
自己株式の取得による支出	14	-
配当金の支払額	8,931	12,355
少数株主への配当金の支払額	314	315
その他の支出	12,020	3,534
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,918	5,804
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	32,799	57,171
現金及び現金同等物の期首残高	360,959	275,216
現金及び現金同等物の四半期末残高	393,758	332,387

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
受取手形裏書譲渡高	132,627千円	178,091千円

2 資産の額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
受取手形及び売掛金(純額)	881千円	861千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
現金及び預金勘定	392,494千円	398,813千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金等	220,371	113,135
有価証券勘定	221,635	46,709
現金及び現金同等物	393,758	332,387

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

配当支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	21,178	10.00	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

配当支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月27日 定時株主総会	普通株式	15,883	7.50	平成26年3月31日	平成26年6月30日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(金融商品関係)

当第1四半期連結会計期間末(平成26年6月30日)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

当第1四半期連結会計期間末(平成26年6月30日)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

当第1四半期連結会計期間末(平成26年6月30日)

当社グループはデリバティブ取引を全く利用していないため、該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額()	0円49銭	14円28銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額() (千円)	1,037	30,233
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益又は四半期純損失金額()(千円)	1,037	30,233
普通株式の期中平均株式数(千株)	2,117	2,117

(注) 当第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、前第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、かつ、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年8月8日

不二硝子株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 伊集院 邦 光

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 杉 本 健 太 郎

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている不二硝子株式会社の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、不二硝子株式会社及び連結子会社の平成26年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。